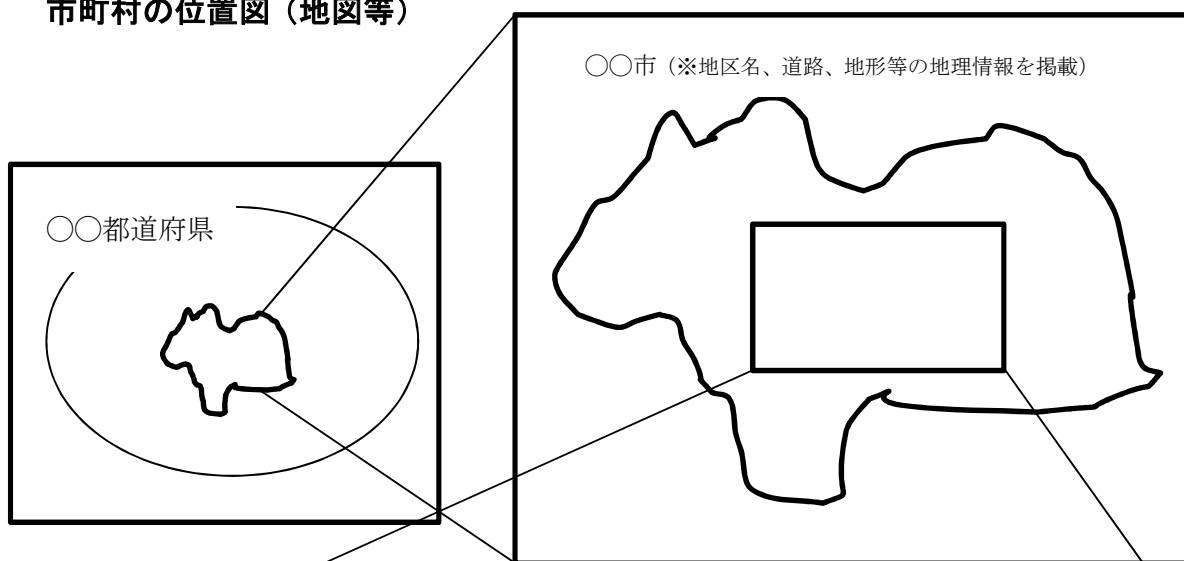


① 申請者	◎A市、B市、C市、D町		② タイプ	地域型 / シリアル型
A B C D E				
③ タイトル				
(ふりがな)	○○○○○○○○○○○○○○○○○○			
○○○○○○○○○○○○○○○○○○				
④ ストーリーの概要 (200字程度)				
○○○○○○○○○○○○○○○○○○……				
⑤ 担当者連絡先				
担当者氏名	A市○○課××係 ○ ○ ○			
電 話	(○○○○) ○○-○○○○	FAX	(○○○○) ○○-○○○○	
E-mail	○○○○○○○○○○			
住 所	○○○○○○○○○○○○○○○○○○			

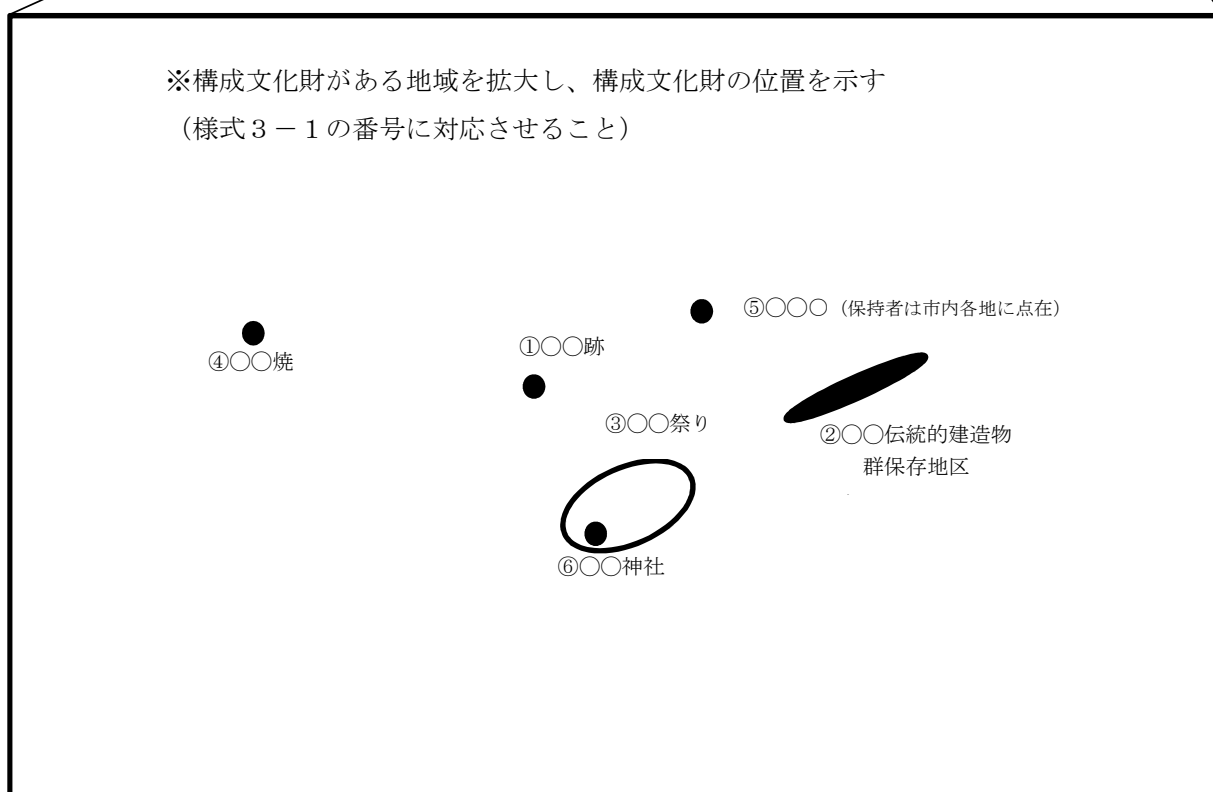
※昨年度申請したもの

平成30年度申請タイトル
○○○○○○○○○○
変更内容
<ul style="list-style-type: none"> ・タイトルを○○○した。 ・ストーリーのうち○○○を○○○とした。 ・構成文化財を○○し、○○した。 ・地域活性化計画を○○○○した。

市町村の位置図（地図等）



構成文化財の位置図（地図等）



※複数ページにわたっても可

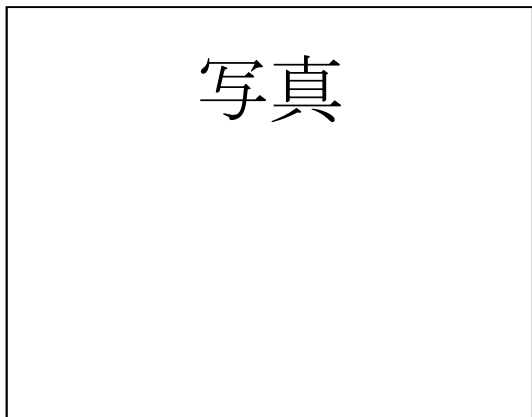
ストーリーの構成文化財一覧表

番号	文化財の名称 (※1)	指定等の状況 (※2)	ストーリーの中の位置づけ (※3)	文化財の所在地 (※4)
①	〇〇 ^{あと} 跡	国史跡	□□ (※ストーリーで語られる重要な人物) の住居跡。出土遺物と合わせて当時の様子が想像できる。	
②	〇〇 ^{でんとうてきけんぞうぶつぐん} 伝統的建造物群保存地区	国重伝建	武家屋敷と町屋の建物が現存する地区。当時の面影が色濃く残る地区であり、ここで行われる祭りや神事の舞台であり、ストーリーをイメージするためにも欠かせない空間を創出している。	
③	〇〇 ^{まつり} 祭り	国無形民俗	××地域からもたらされ、その後△△地域 (※ストーリーの舞台となる地域) で独自の伝播・発展を遂げた農耕儀礼。	
④	〇〇 ^{やき} 焼	県有形 (工芸品)	××地域との交流により、△△地域で独自の発展を遂げた〇〇焼の中で代表的なもの。	
⑤	〇〇〇	未指定 (工芸技術)	地域の伝統工芸である〇〇の制作に必要な高度な工芸技術。	
⑥	〇〇 ^{じんじや} 神社	市登録有形 (建造物)	上記3の祭りが奉納されている神社であり、地域住民にとって祭りの象徴的な存在である。	

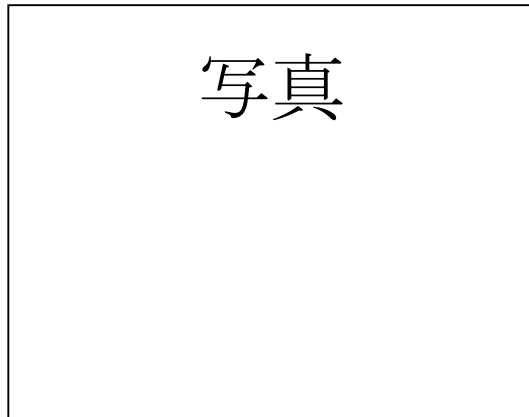
- (※1) 文化財の名称には振り仮名を付けること。
- (※2) 指定・未指定の別、文化財の分類を記載すること (例：国史跡、国重文 (工芸品)、県史跡、県有形、市無形、未指定 (建造物)、等)。なお、**未指定であっても文化財保護の体系に基づいた分類を記載**すること。
- (※3) 各構成文化財について、ストーリーとの関連を簡潔に記載すること (単に文化財の説明にならないように注意すること)。
- (※4) ストーリーのタイプがシリアル型の場合のみ、市町村名を記載すること (複数の都道府県にまたがる場合は都道府県名もあわせて記載すること)。

構成文化財の写真一覧

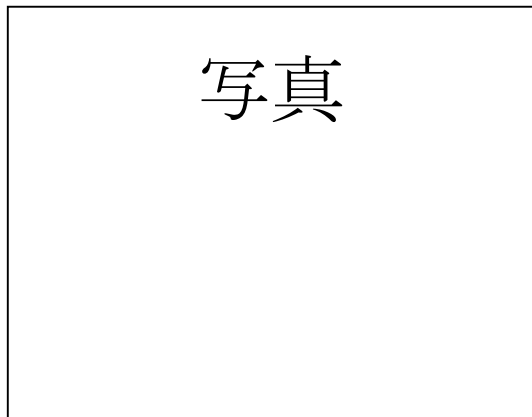
①〇〇跡



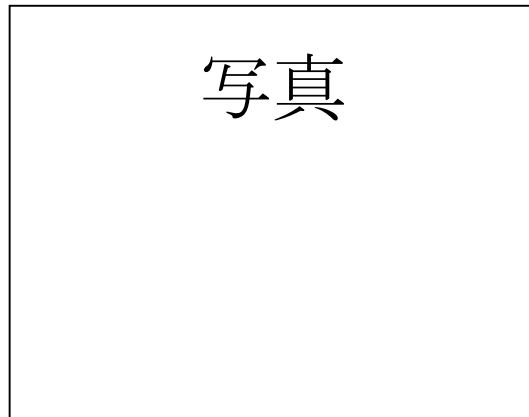
④〇〇焼



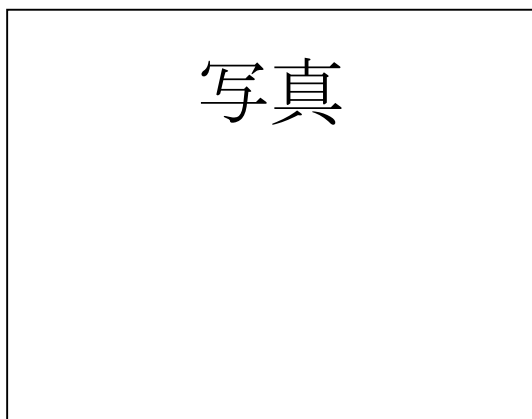
②〇〇伝統的建造物群保存地区



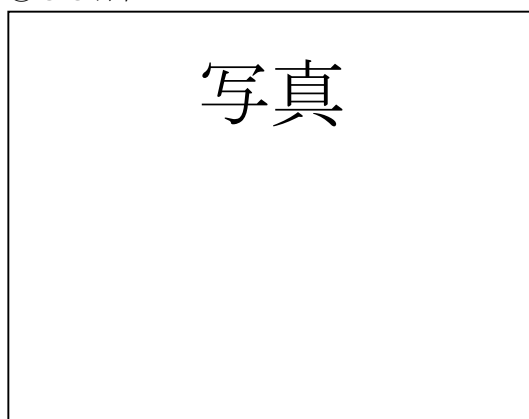
⑤〇〇〇



③〇〇祭り



⑥〇〇神社



※複数ページにわたっても可

日本遺産を通じた地域活性化計画

(1) 将来像 (ビジョン) ○○○○○○○○○○○○○○○…			
(2) 地域活性化のための取組の概要			地域の現状を踏まえた取組の柱立て及び柱立ての説明を以下の視点をもって記載。 ・各取組を行う目的 ・各取組を行うことによって得ようとする成果 ・各取組を行うにあたっての関係機関等との連携方法
<p>①地域エリアブランドを構築し、国内外に向けて地域の××地域は××であるため、優れた地域資源や地域の、積極的な情報発信などにより地域の知名度や集客力を</p> <p>②××××協議会による民間主導のまちづくりを推進す</p> <p>××地域は××であるため、市民、事業者、行政がその活性化を図る。さらに、地域を支える人材の育成にも力点を置いたまちづくりを進める。</p> <p>③史跡××××の整備活用を図り、文化財の価値の理解と魅力の向上を図る。</p> <p>××地域は××のため、日本遺産のストーリーの核となる史跡××××の整備活用を図るとともに、学校教育や生涯教育とも積極的に連携を図る。</p> <p>④史跡××××周辺の整備を進め、××地域の魅力を創出する。</p> <p>史跡××××周辺部には、趣のある町並みや歴史的建造物が点在することから、これらを活かした回遊路の整備等を進める。</p> <p>⑤地域の伝統産業の振興と、それを活かした観光振興を行う。</p> <p>××地域は××のため、地域の伝統工芸品××××について、××××によりブランド力を高め、消費拡大を図る。また、産業観光という新たな視点から、国内のみならず外国人来訪者にも受け入れられる展開を図る。</p> <p>⑥市域を越えた人やモノの交流を活性化させる。</p> <p>××地域は××のため、××市と××市を結ぶ周遊ルートを形成し来訪者を呼び込むとともに、文化・教育など様々な分野で一層の交流を図っていく。</p> <p>⑦訪日外国人が周遊しやすい環境を整備する。</p> <p>××地域は××のため、××の多言語化を進め、××地域の魅力を訪日外国人に発信する。</p>			
(3) 自立的・継続的な取組			
<p>・養成したガイドの活動は有料とし、ガイド料で継続して新たなガイドの育成を行う。また、整備した展示施設についても有料とし、入場料で施設の維持・管理を行う。</p> <p>・ふるさと納税に日本遺産への取組の項目を設け、その寄付金によって、日本遺産に関する活動を継続して実施する。</p> <p>・○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○…</p>			
補助事業の終了を見越し、以下の視点をもって記載 ・認定された日本遺産ストーリーがどのように地域に浸透するか。 ・インバウンド整備・観光地の面展開 ・地域の担い手の育成 ・民間事業者の巻き込み など			
(4) 実施体制			現在の状況を踏まえ、実施可能な体制を以下踏まえて記載。 ・地域活性化のための取組を総括して推進するプロジェクトリーダーの決定 ・民間主体の取組に応じた分野別のワーキンググループの設置 ・ワーキンググループを取りまとめるグループリーダーの決定 ・行政の関係者及びグループリーダーが定期的に意見交換する連絡会議の設置 ・定期的な連絡会議の場等を通して形成されるボトムアップや地域連携の仕組み
<p>・協議会の名称： ○○市×××××協議会</p> <p>・構成団体： ○○市(××課、△△課)、○○市観光協会、○○市商工会、○○市民俗芸能保存協会、○○市青年会議所</p> <p>××な者をプロジェクトリーダーに据え、迅速な意思決定が出来るようにする。また、情報発信、人材育成、地場産業、観光振興、○○○○のワーキンググループを設け、地域の民間団体等を巻き込むことでボトムアップの仕組みを確立し、各ワーキンググループには△△△△な者をリーダーに選出する。各リーダーと行政の担当部局が定期的に集まる連絡会議を設置し、情報や課題の共有を図る。</p> <p>当面の間は、××の経験を有する者をプロデューサーとして協議会に配置することで、協議会の意見を調整しながら取組を進め、その間に、プロデュースが出来る人材を育てる。</p>			
(5) 地域活性化計画における目標と期待される効果		定量的評価：別紙①のとおり	
期待される効果： 市民の地域の文化に対する関心が向上することにより、今後市民の力による地域の文化財の保存が図られ、次世代への継承が期待できる。また、日本遺産の取組により、文化的な空間の構築が行われ、観光客の満足度が向上し、リピーターの増加も期待できるほか、○○○○○…		期待される効果及び定性的評価を記載。	
(6) 日本遺産魅力発信推進事業			別紙②のとおり
事業費：		平成31年度： 千円	平成32年度： 千円 平成33年度：
(7) その他事業			別紙③のとおり

(5) 地域活性化計画における目標と期待される効果

設定目標Ⅰ:	日本遺産を活用した集客・活性化	設定目標Ⅰの場合、以下から選び、記載。 ・観光客入込み数(必須) ・外国人観光客数 ・宿泊者数 ・滞在時間 ・経済効果 ・広告換算効果 ・その他(具体的に記載)
計画評価指標:	観光客入込み数	
具体的な指標:	〇〇市の観光客数 (6)、(7)の事業で該当の設定目標に関連する事業を記載	
関連事業:	(6)①、②、③ (7)①、②	
目標値:	平成 30 年度 100,000 人 ⇒ 平成 36 年度 116,152 人	
原則として認定年度を基点とするが、それによりがたい場合は、適宜の年度を基点とすること。	認定後6年 〇市総合計画に記載の目標設定を準用(〇%増/年)するとともに、関連事業実施による数値を算(〇人/年)し計上した。	
設定目標Ⅱ:	日本遺産を核としたコミュニティ	設定目標Ⅱの場合、以下から選び、記載。 ・地域の文化に誇りを感じる住民の割合 ・日本遺産の認知度 ・日本遺産を活用した取組数(協議会による取組を除く) ・その他(具体的に記載)
計画評価指標:	地域の文化に誇りを感じる住民の割合	
具体的な指標:	住民意識調査の「地域の文化に愛着を感じる」の割合	
関連事業:	(6)④、⑤、⑥	
目標値:	平成 28 年度 37 % ⇒ 平成 36 年度 62 %	
設定根拠:	5年に1度の調査で直近は平成28年度の実施。平成36年度は臨時で実施することとし、目標値には過去最高実績値の62%を設定。	設定根拠の妥当性を吟味すること。
設定目標Ⅲ:	日本遺産に関する取組を行うための持続可能な体制の維持・確立	設定目標Ⅲの場合、以下から選び、記載。 ・日本遺産のためのふるさと納税額 ・日本遺産のための寄付額 ・日本遺産関連で開発された商品・サービス数 ・日本遺産への協力団体数 ・日本遺産への協力者数 ・その他(具体的に記載)
計画評価指標:	日本遺産関連で開発された商品・サービス数	
具体的な指標:	地元事業者による日本遺産関連取組件数	
関連事業:	(6)⑦ (7)③、④、⑤	
目標値:	平成 30 年度 0 件 ⇒ 平成 36 年度 10 件	
設定根拠:	(6)⑦で新規に実施するため基準年は0件。補助事業では体制の確立(5部会)まで実施を予定している。それぞれの部会で2件の商品開発を目標値に設定。	
設定目標Ⅳ:	その他	
計画評価指標:	その他	
具体的な指標:		
関連事業:		
目標値:	平成 年度 ⇒ 平成 年度	
設定根拠:		

※黄色で着色したセルの内容は変更しないでください。

※目標Ⅰ～Ⅳを複数設定する場合は、設定目標～設定根拠までをコピーして欄を増やしてください。

記入例

様式 4 (別紙②)

(6) 日本遺産魅力発信推進事業

事業①:	○○情報発信事業		
事業区分:	情報発信	事業期間:	平成 31 年度 ~ 平成 33 年度
事業費:	平成31年度: 千円	平成32年度: 千円	平成33年度:
事業概要:	情報発信の場合、以下から選び、記載。 ・ホームページ閲覧数(PV数) ・SNS上の情報発信の「いいね」の数 ・コンテンツ制作数 ・コンテンツダウンロード数(掲載HPや動画共有サイトでの再生回数等) ・補助事業終了後のパンフレット等コンテンツ増刷数(自主事業分)		
具体的な指標:	・外国人入込み数 ・宿泊者数 ・外国人宿泊者数 ・その他(具体的に記載)		
目標値:	平成 年度		
事業②:			
事業区分:	人材育成	事業期間:	平成 年度 ~ 平成 年度
事業費:	平成31年度: 千円	平成32年度: 千円	平成33年度:
事業概要:	人材育成の場合、以下から選び、記載。 ・ガイド育成講座修了者の後年度活動者数 ・ガイド利用者数 ・コーディネーター等育成講座修了者による活動件数 ・その他(具体的に記載)		
具体的な指標:	事業期間と一致せずとも、地域活性化計画期間終了後(6年後)の目標値を定める。		
目標値:	平成 年度	⇒	平成 年度
事業③:			
事業区分:	普及啓発	事業期間:	平成 年度 ~ 平成 年度
事業費:			
事業概要:	普及啓発の場合、以下から選び、記載。 ・日本遺産の認知度 ・日本遺産に関する商品開発数 ・日本遺産に関する旅行商品数 ・その他(具体的に記載)		
具体的な指標:			
目標値:	平成 年度	⇒	平成 年度
事業④:			
事業区分:	調査研究	事業期間:	平成 年度 ~ 平成 年度
事業費:	平成31年度: 千円	平成32年度:	
事業概要:	調査研究の場合、以下から選び、記載。 ・調査対象文化財への観光客数 ・嗜好性調査を踏まえた商品開発数 ・嗜好性調査で絞り込んだ層の入込み数 ・その他(具体的に記載)		
具体的な指標:	公開活用のための整備の場合、以下から選び、記載。 ・観光客の満足度 ・施設への入込み数 ・その他(具体的に記載)		
目標値:	平成 年度	⇒	平成 年度

記入例

様式4 (別紙③)

(7) その他事業

事業① :	(2)で挙げた取組を実施するために検討している事業を記載。			
実施主体 :		事業期間 :	平成	年度 ~ 平成
事業概要 :				
事業② :				
実施主体 :		事業期間 :	平成	年度 ~ 平成
事業概要 :				
事業③ :				
実施主体 :		事業期間 :	平成	年度 ~ 平成
事業概要 :				
事業④ :				
実施主体 :		事業期間 :	平成	年度 ~ 平成
事業概要 :				
事業⑤ :				
実施主体 :		事業期間 :	平成	年度 ~ 平成
事業概要 :				
事業⑥ :				
実施主体 :		事業期間 :	平成	年度 ~ 平成
事業概要 :				
事業⑦ :				
実施主体 :		事業期間 :	平成	年度 ~ 平成
事業概要 :				
事業⑧ :				
実施主体 :		事業期間 :	平成	年度 ~ 平成
事業概要 :				
事業⑨ :				
実施主体 :		事業期間 :	平成	年度 ~ 平成
事業概要 :				
事業⑩ :				
実施主体 :		事業期間 :	平成	年度 ~ 平成
事業概要 :				

「日本遺産」認定内容変更申請書

タイトル	〇〇〇・・・・		
変更箇所	変更理由		
[申請者] ・申請者に〇〇市を追加する。なお、追加に伴い代表自治体は〇〇市とする。	構成文化財に〇〇を追加するため		
[タイトル] ・「〇〇〇・・・・」に変更する。	・・・のため		
[ストーリーの概要] ・〇行目に「〇〇〇・・・・」を追記する。	・・・のため		
[ストーリー] ・2頁の〇行目に「〇〇〇・・・・」を追記する。	・・・のため		
[構成文化財] ・「〇〇〇」及び「〇〇〇」を追加する。	所有者の同意がとれたため		
担当者連絡先			
担当者氏名			
電話		FAX	
E-mail			
住所			

※ 変更がない箇所は空欄でご提出願います。

ストーリーの構成文化財予定一覧表

状況 (※1)	番号	文化財の名称 (※2)	指定等の状況 (※3)	ストーリーの中の位置づけ (※4)	文化財の所在地 (※5)
既	①	〇〇跡	国史跡	□□(※ストーリーで語られる重要な人物)の住居跡。出土遺物と合わせて当時の様子が想像できる。	
既	②	〇〇伝統的建造物群保存地区	国重伝建	武家屋敷と町屋の建物が現存する地区。当時の面影が色濃く残る地区であり、ここで行われる祭りや神事の舞台であり、ストーリーをイメージするためにも欠かせない空間を創出している。	
既	③	〇〇祭り	国無形民俗	××地域からもたらされ、その後△△地域(※ストーリーの舞台となる地域)で独自の伝播・発展を遂げた農耕儀礼。	
新	④	〇〇焼	県有形(工芸品)	××地域との交流により、△△地域で独自の発展を遂げた〇〇焼の中で代表的なもの。	
予	⑤	〇〇〇	県無形(工芸技術)	地域の伝統工芸である〇〇の制作に必要な高度な工芸技術。	
予	⑥	〇〇神社	市登録有形(建造物)	上記3の祭りが奉納されている神社であり、地域住民にとって祭りの象徴的な存在である。	

(※1) 「既」：一覧表に掲載済みのもの

「新」：新たに掲載を予定しているもの

「予」：今後、掲載を検討しているもの

(※2) 文化財の名称には適宜振り仮名を付けること。

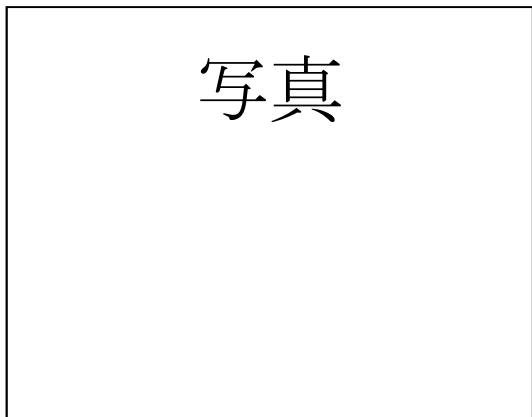
(※3) 指定・未指定の別、文化財の分類を記載すること(例：国史跡、国重文(工芸品)、県史跡、県有形、市無形等)。なお、**未指定であっても文化財保護の体系に基づいた分類を記載**すること。

(※4) 各構成文化財について、ストーリーとの関連を簡潔に記載すること(単に文化財の説明にならないように注意すること)。

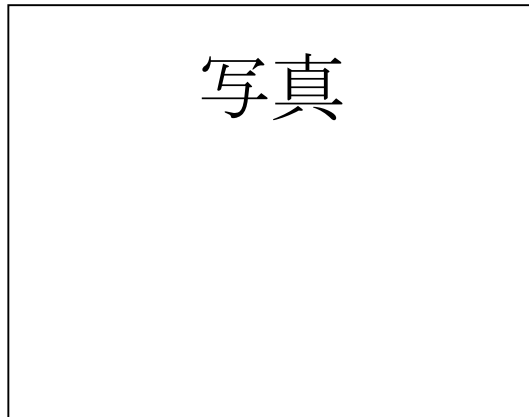
(※5) ストーリーのタイプがシリアル型の場合のみ、市町村名を記載すること(複数の都道府県にまたがる場合は都道府県名もあわせて記載すること)。

構成文化財予定の写真一覧

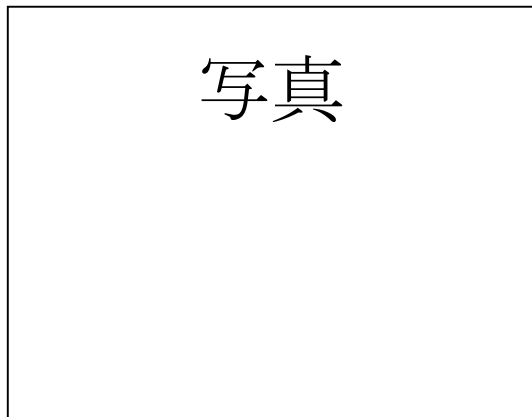
①〇〇跡



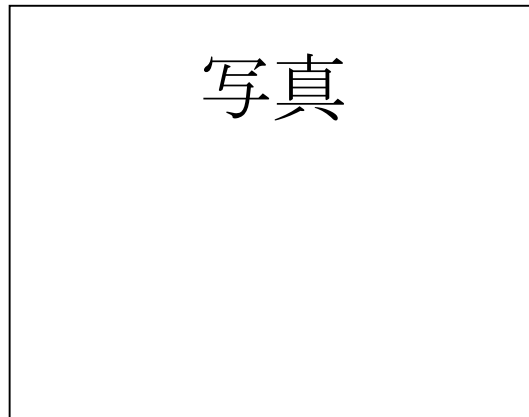
④〇〇焼



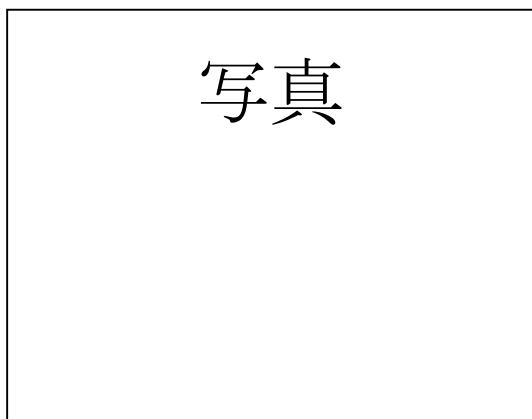
②〇〇伝統的建造物群保存地区



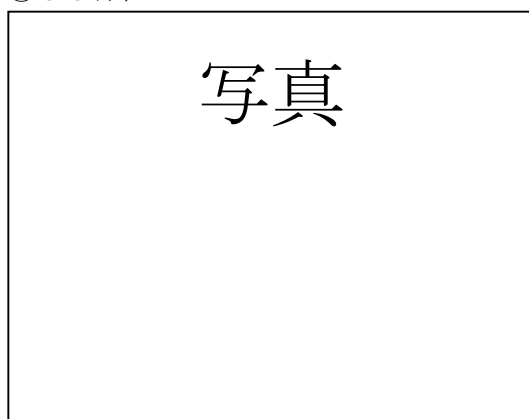
⑤〇〇〇



③〇〇祭り



⑥〇〇神社



※複数ページにわたっても可